

## 芸術発見の旅 in 倉吉

### 楼韵姿（ロウインツ）

#### 上神焼中森

ここは鳥取県倉吉市の山奥にある焼き物体験教室「上神焼中森」。3月初めの晴れた日、梅や早咲きの河津桜、椿が咲いていて、麗らかな春の景色が楽しめます。

陶芸体験では、まず何を作るかを決めてもらいます（カップ、お皿、茶碗など）。街中で陶芸作品を時々目にしますが、実際に指導してもらいながら、体験する機会がなかなかありませんね。今回は「伸ばし作業」から「成形」「模様作り」まで体験しました。約2週間後焼き上がりの作品が手元に届く予定なので、わくわくします。

#### 倉吉白壁土蔵群散策（琴櫻記念館、民芸店など）

倉吉といえば、赤い瓦に白い壁の景色を連想します。

のんびりと時間をかけて散策すると、新たな発見もできるかもしれません。

日本の国技・相撲のなかで、一番偉いランキングが「横綱」ですが、そのうち「琴櫻」という横綱の出身地がここ倉吉です。

体の大きいお相撲さんは子どもの頃、倉吉の町でどんな生活をしていたのでしょうか？横綱になるまで、どんな努力をしたらろうか？琴櫻記念館に答えを探しにきました。

倉吉の白壁土蔵群沿いに、おしゃれな雑貨屋さんやカフェ、レストランも数多く点在しているので、ここでゆったりと時間を過ごしませんか？

#### 昼食（清水庵）

清水庵は色とりどりのお餅の「餅しゃぶ」が名物のお店です。

入口に、一羽の可愛い兔がお餅をついている石像が立っていて、鳥取らしさ満点！因幡の白兔が倉吉に応援に来たんですね！

食事をする前に、お店をぐるっと巡りました。一つの置物、一枚の絵、一つの書道作品...どれを見ても、驚くほどよくできています。書道作品の文字をよく読むと中国語の四字熟語「龍騰虎躍」で、署名に「中国河北省」などと書いてあります。鳥取県と友好締結している中国河北省からいただいているそうです。

今回の食事は名物「餅しゃぶ」定食です。12枚もある薄切りのお餅は、味も違い、色も重ならなりません。お餅を箸で鍋に入れて、三秒ぐらいで取り出す。するとちょうどいいぐらいのもっちり食感を楽しむことができます。なぜ12枚なのかを調べてみたら、これは1200年前の平安時代の貴族女子が着る「十二単」をモチーフにしています。見た目も味もよくこだわってい

て、本当に面白いアイデアですね。

倉吉に遊びに来る友人にぜひ案内してあげたいと思います。

### 円形劇場見学

ここはかつて地元の小学校。人口減少、少子化で廃校になってしまいましたが、「どうか校庭を潰さないで」というお願いで、円形の建物が潰される運命を免れました。その後、劇場とかとして活躍してきたが、今は人形を展示する博物館として公開されています。

今回の見学で、一個のねんどろいど人形を作るのは大変な作業であることを知りました。

そして、倉吉を舞台にするアニメ「ひなびた♪」にご興味のある方、「初音ミク」や美少女アニメが好きな方、ぜひお見逃しなく！

### 小川氏庭園・環翠園 見学

この庭園は鳥取県の指定名勝であり、円形劇場のすぐ近くに位置します。かつて、酒造と綿の商売で財を成した倉吉出身の実業家・小川氏が地元で和風庭園を造りました。緑豊かな庭園に木々と花が植えられていて、池に鯉が泳いでいます。借景の後ろにある3つの山に合わせて、主屋に合掌造り屋根も3つ作られています。

今回は眺めのいい和室に座り、抹茶と和菓子をいただき、「和敬清寂」の茶道の心を感じてみました。

見学は予約が必要なので、お忘れなく！



上神焼（楼交流員撮影）



完成品（文化政策課撮影）



琴櫻像 (楼交流員撮影)



清水庵 (文化政策課撮影)